

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：子ども・福祉部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	みえこどもの城(松阪市立野町1291番地)
指定管理者の名称等	公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事長 福田 圭司
指定の期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・みえこどもの城条例第2条に規定する事業(児童の健全育成に関する内容、地域の児童館等への指導・助言等)の実施に関する業務 ・みえこどもの城の施設及び設備の利用の許可等に関する業務 ・みえこどもの城の利用料金の收受等に関する業務 ・みえこどもの城の管理施設の維持管理及び修繕に関する業務 ・上記業務のほか、知事がみえこどもの城の管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	A		<p>館内の点検等を確実にし、施設の適正管理に努めた。</p> <p>また、利用者の安全の観点から、館内に必要な修繕を認めた際には、県への報告のほか、指定管理者により必要な修理や改善等を実施しており、管理の瑕疵に起因する事故等の発生の防止に努めた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、感染症防止対策等の施設の衛生管理を行い、利用者の安心・安全の確保に尽力した。</p> <p>以上のことから、業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げていると判断する。</p>
H29	B		
H30	A		
R元	A		
R2	A		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H28	A		<p>県内の企業、団体、大学、地域等との協働事業を実施・推進することで、利用者の確保のほか、新規利用者の開拓に繋がる関係を構築した。</p> <p>また、Twitter及びYoutubeを活用したコンテンツを配信を開始するなど、効果的かつ魅力的な情報発信の実施に努めた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者の確保が困難な状況となり、臨時休館や利用者数の制限を行ったことから、令和元年度は施設利用者数が伸び悩み、令和2年度にあっては大きく減少した。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、施設を有効に活用していたと考えられることから、概ね当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げていると判断する。</p>
H29	A		
H30	A		
R元	A		
R2	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	674,896,000	事業費	506,398,740
利用料金収入	54,008,820	管理費	237,899,599
その他の収入	28,042,179	その他の支出	14,500,000
合計 (a)	756,946,999	合計 (b)	758,798,339
収支差額 (a)-(b)	△ 1,851,340		

※参考

利用料金減免額	2,895,004
---------	-----------

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績							
			成果目標項目		H28実績値	H29実績値	H30実績値	R元実績値	R2実績値	
H28	A		年間総利用者数	目標値		200,000人	200,000人	200,000人	200,000人	200,000人
				実績値		237,337人	233,296人	216,812人	192,783人	116,342人
			児童健全育成拠点事業実施回数	目標値		90回	90回	90回	90回	90回
				実績値		91回	94回	92回	95回	87回
			利用者の満足度	目標値		80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
				実績値		94.0%	96.0%	92.0%	93.0%	96.0%
子どもに関する情報パネル展	目標値		5企画	5企画	5企画	5企画	5企画			
	実績値		6企画	6企画	5企画	4企画	5企画			
H29	A		ドームシアター事業	目標値		25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人
				実績値		30,986人	30,596人	29,241人	23,642人	7,503人
			クライミングウォール事業(利用者数)	目標値		10,000人	10,000人	10,000人	11,000人	12,000人
				実績値		13,970人	16,762人	13,300人	9,786人	2,460人
			クライミングウォール事業(選手権参加数)	目標値		30人	30人	30人	30人	30人
				実績値		43人	43人	46人	35人	0人
カブラ事業	目標値		12回	12回	12回	12回	12回			
	実績値		12回	12回	12回	12回	2回			
H30	A		創作活動	目標値		106企画	106企画	106企画	106企画	106企画
				実績値		106企画	129企画	126企画	110企画	90企画
			身体活動(企画数)	目標値		10回	10回	10回	10回	10回
				実績値		11回	10回	12回	9回	10回
			身体活動(遊具コーナー利用者数)	目標値		28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人
				実績値		34,006人	33,307人	33,358人	26,521人	4,563人
他団体との共催事業	目標値		10企画	10企画	10企画	10企画	10企画			
	実績値		32企画	25企画	34企画	23企画	16企画			
R元	A		ボランティア・大学生などの企画事業	目標値		20企画	20企画	20企画	20企画	20企画
				実績値		23企画	47企画	40企画	24企画	31企画
			繁忙期対応特別事業	目標値		2企画 10,000人	2企画 10,000人	2企画 10,000人	2企画 10,000人	2企画 10,000人
				実績値		5企画 31,325人	7企画 23,891人	17企画 10,213人	21企画 14,572人	21企画 11,254人
			地域協働大型イベント	目標値		50団体 100人	50団体 100人	50団体 120人	50団体 120人	50団体 120人
				実績値		66団体 128人	101団体 215人	73団体 205人	92団体 208人	60団体 9人
県施策関係イベント・展示	目標値		20企画	20企画	20企画	20企画	20企画			
	実績値		21企画	30企画	25企画	19企画	17企画			
R2	B		サテライトこどもの城	目標値		3か所	3か所	4か所	4か所	5か所
				実績値		4か所	6か所	4か所	7か所	5か所
			ボランティア育成	目標値		4グループ	4グループ	6グループ	6グループ	8グループ
				実績値		4グループ	8グループ	7グループ	6グループ	5グループ
			利用促進	目標値		190団体	190団体	190団体	190団体	190団体
				実績値		173団体	199団体	239団体	166団体	82団体
ホームページによる情報提供	目標値		160,000アクセス	160,000アクセス	170,000アクセス	180,000アクセス	190,000アクセス			
	実績値		179,945アクセス	172,231アクセス	178,115アクセス	201,686アクセス	112,726アクセス			
全期間におけるコメント										
<p>県が指定管理者公募に際して示した3つの成果目標(年間総利用者数、児童健全育成拠点事業実施回数及び利用者の満足度)については、概ね成果目標を達成し、実績を残したと判断する。</p> <p>令和元年度以降について、新型コロナウイルス感染症の影響により、達成に至らなかった成果目標があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、順調に達成していたと考えられることから、当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げていると判断する。</p>										

6 総括評価

・平成27年度まで当施設の指定管理者であった経験を生かし、みえこどもの城の管理を適正に行うとともに、施設を有効に活用していると評価できる。

・施設の管理業務の実施状況については、毎年度県が実施したモニタリングにおいて、施設の維持管理を適正に行っていることを確認している。指定管理者が点検を実施して施設の適正管理に努めており、何かしらの問題が発生する兆しを確認した場合には、県と情報共有を行い、その改善を行うなど事故発生未然防止を徹底しており、その結果、管理の瑕疵に起因する事故等は発生しなかった。また、新型コロナウイルス感染症が流行するなか、感染症防止対策等の施設の衛生管理を行い、利用者の安心・安全の確保に尽力したことは評価できる。

・施設の利用状況については、高い企画力で特色のある取組を増やしており、企業、団体、大学、地域等との協働事業を実施することで、提供するサービスの多様化を図り、子どもと大人の交流の機会を提供したほか、Twitter及びYoutubeを活用したコンテンツの配信を開始し、効果的かつ魅力的な施設の情報発信の実施に努めたことは評価できる。

・3つの成果目標(年間総利用者数、児童健全育成拠点事業実施回数及び利用者の満足度)については、概ね達成しているものの、令和元年度及び令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、未達成となった成果目標があった。今後、アンケートなどを通して利用者の声を把握し、企画内容の充実や情報発信に活用するなど、成果目標の達成に向けての創意工夫に更なる尽力をされた。

以上のことから、指定管理者は保有するノウハウを生かした創意工夫により、利用者へのサービス、アピールなどを向上させてきた。令和元年度以降について、一部の成果目標に未達成となった項目があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響があるなかにおいても、新規利用者の開拓を行うなど、努力を行っており、順調に管理・運営を行ってきたものと評価できる。

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。